

## パンツスタイルにおける各種上衣服種の着装イメージ

藤 井 一 枝

(被服構成学第一研究室)

### Wearer Images on the Variations of the Tops in Pants Style

Kazue Fujii

キーワード：Wearer Images 着装イメージ，Pants Style パンツスタイル，Kinds of Tops 上衣服種

#### 1. 緒 言

女子短大生にとって、パンツファッションは今や定番のスタイルであるといえるが、各人は同じパンツスタイルでも種々のパンツシルエットや上衣服種をコーディネートすることによって、個性化をはかっているものと思われる。この場合、あらかじめ着用者が種々のパンツシルエットや上衣服種による着装イメージの違いを把握しておれば、着こなしの幅も広がり、よりパンツファッションを楽しめるものと考えた。そこで、既報<sup>1)</sup>において、パンツシルエットの違いが着装イメージに及ぼす影響について調べるために3種のパンツシルエットに対する一対比較法による官能検査を行った。その結果、ブーツカットパンツは着用者や上衣服種に関わらず、「格好良い」「魅力的な」「メリハリがある」「しゃれた」などのプラスの着装イメージを示すのに対して、ワイドパンツは「格好悪い」「魅力的でない」「メリハリがない」などのマイナスのイメージを示すこと、ストレートパンツは両者のほぼ中間のイメージを示すこと等を明らかにし、ストレートパンツによるパンツスタイルイメージは着用者や上衣服種の影響をより強く受けるものと推察された。そこで今回は、下衣はストレートパンツを用いて、組み合わせる上

衣服種の違いによるパンツスタイルの着装イメージへの影響について、一対比較法による官能検査を行なって検討したので報告する。

#### 2. 方 法

##### 1) 着用者とパンツシルエットの選定

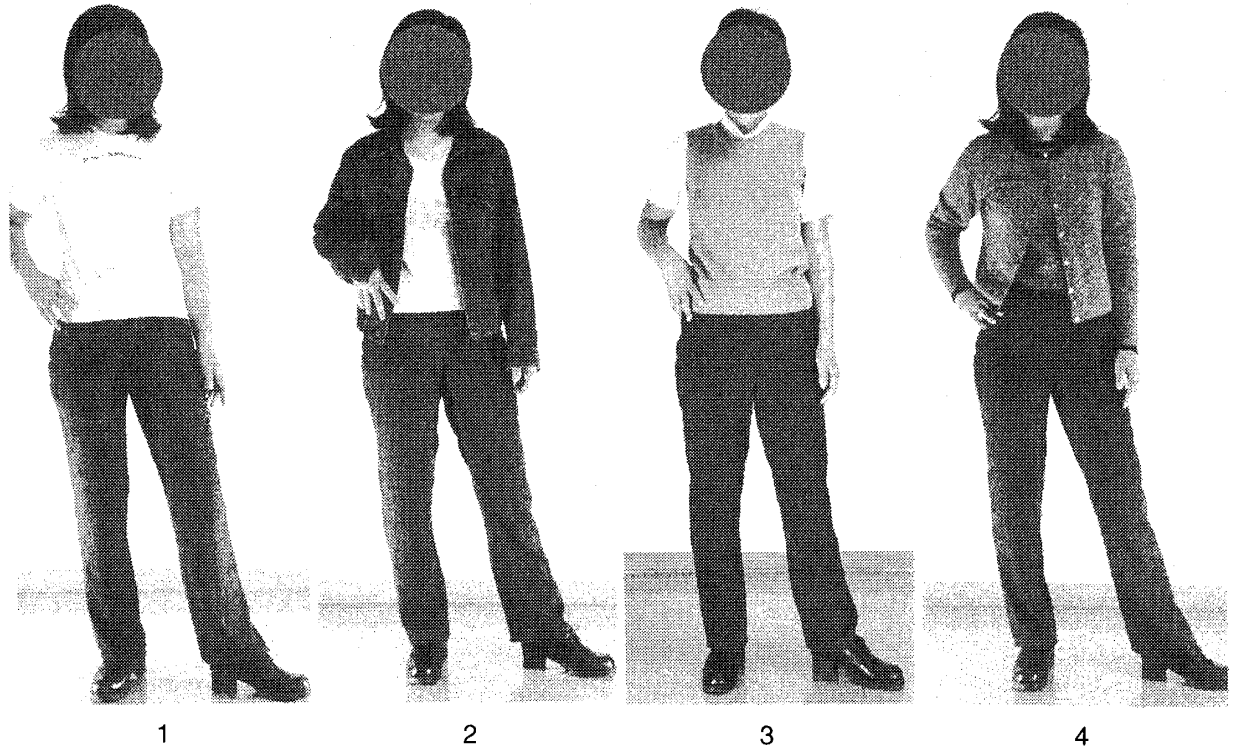
着用者は既報<sup>1)</sup>と同じで、体型の異なる女子短大生2名とした。着用者Mは厚みのあるやや肥満体型を、着用者Oは扁平型の瘦身体型をしている。以下、着用者M、Oと表す。パンツシルエットは基本的なストレートパンツを用いた。

##### 2) 上衣服種の選定

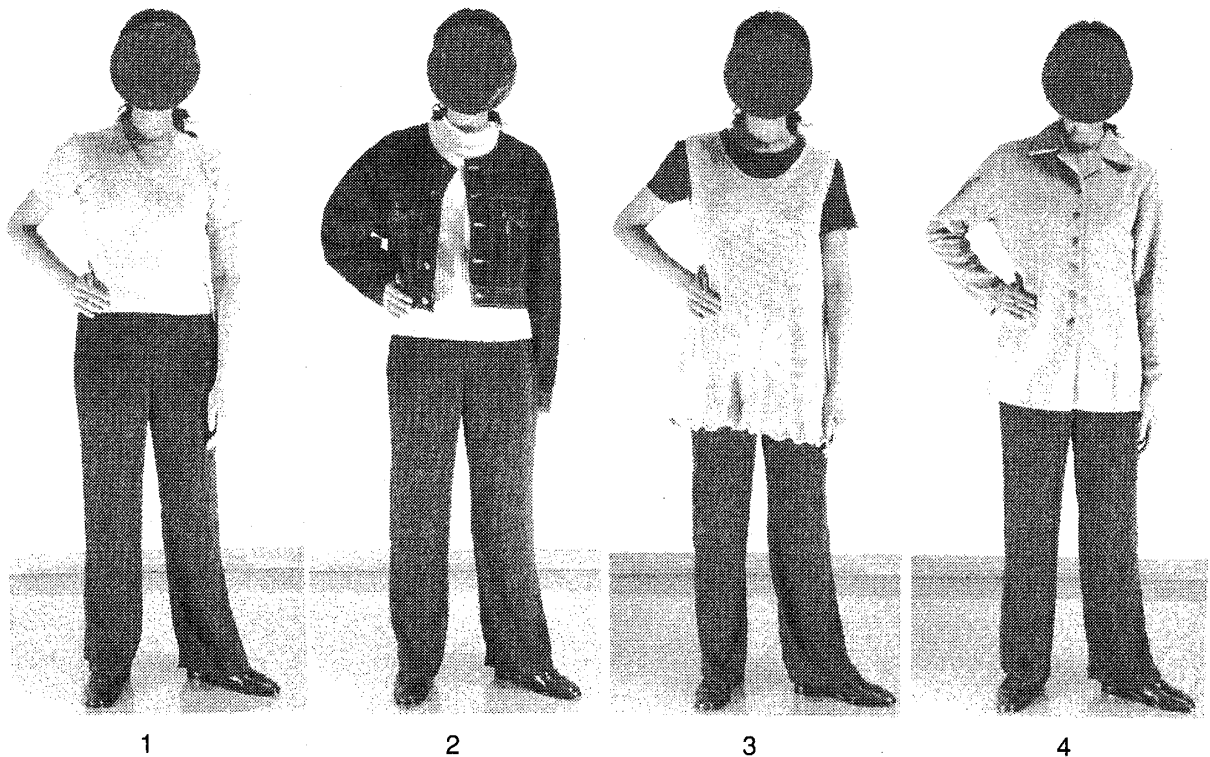
パンツとコーディネートする上衣服種は着用者を女子短大生に絞ってみると、これまでの通学服に見る実態調査からも分かるように、Tシャツが最も多いが、それ以外にも個々人が所有するワードローブを組み合わせることでパンツファッションを楽しんでいる。そこで、上衣服種の選定は既報<sup>1)</sup>と同様のそれぞれの着用者自身が所有するワードローブの中から着用者がふさわしいと考えて選んだ異なる3種に、新しく1種ずつを加えた4種とした。

第1図に下衣にストレートパンツをコーディネートした4種の上衣服種を白黒写真で示す。なお、実

個性Mが選定した上衣服種



個性Oが選定した上衣服種



第1図 各個性が選定した上衣服種とパンツとのコーディネート写真

際に官能検査を行う際にはカラー写真を用いた。図に示すとおり、新たに加えた上衣服種は、個性Mがモノトーンのアンスラブルニット、個性Oがブラウンの厚手のオーバーブラウスである。

3) 着装イメージの評価

個性ごとに4種の上衣服種をコーディネートしたカラー写真を用いて、上衣の異なる服種を2種類ずつ組み合わせると、それぞれ6通りの組み合わせができる。これを第2図に示すように、一対ずつ台紙に貼って一対比較法の試料を合わせて12対作成した。

この試料を1対ずつランダムに判定者に提示して、各イメージごとに一対比較法による官能検査を行った。方法は、第2図に示す上衣服種の異なる一対のパンツスタイル写真(A, B)を見て、例えば、AのイメージがBと比べて「派手である」場合を+2点、「やや派手である」場合を+1点、AとBに差がなければ0点、逆にBの方が「やや派手である」場合を-1点、「派手である」場合を-2点とする5段階評価である。このとき、試料により判断基準が異なることのないように12対すべてを一人の判定者が評価する方法を用いた。判定者は、着用者が女子短大生であることから、日頃厳しい目でお互いの服装について評価していると思われる女子短大生20名を選んだ。評価項目は第3図に示す20項目を用いた。一対比較法の評点法はSD法と異なり、上衣

	はい	やや	どちらでもない	やや	はい
派手な					地味な
格好良い					格好悪い
魅力的な					魅力的でない
洗練された					洗練されていない
フェミニンな					マニッシュな
メリハリがある					メリハリがない
しゃれた					やぼったい
軽やかな					重々しい
ゆったりとした					窮屈な
エレガントな					スポーティな
ほっそりとした					ふくよかな
若々しい					大人っぽい
似合う					似合わない
好きな					嫌いな
モダンな					クラシックな
個性的な					平凡な
足が長く見える					足が短く見える
ソフトな					ハードな
スタイルがよい					スタイルが悪い
落ち着いた					活発な

第3図 判定に用いた20尺度項目

服種の違いによる着装イメージが距離尺度によって求められることに特徴がある。結果は一対を同時に提示して判定を行ったので、比較順序は考えないシェッフエの中屋の変法<sup>5)</sup>を用いて分析した。

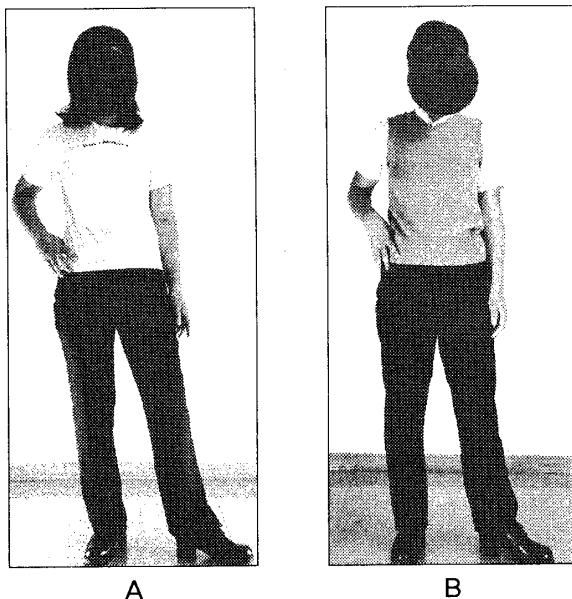
まず、個性ごとに4種の異なる上衣服種による着装イメージの平均嗜好度を求め、分散分析を行った。次に、主効果(平均嗜好度)に有意差の認められたイメージ項目について、どの上衣服種間にイメージの差があるかを調べるために、分散分析表の不偏分散の値、試料数、自由度を用いてヤードスティック $Y_{\phi}$ <sup>5)</sup>を算出し、主効果( $\alpha_i - \alpha_j$ )の信頼区間を求めた。

3. 結果および考察

1) 上衣服種の違いが影響する着装イメージ

第1表は個性ごとに4種の異なる上衣服種による着装イメージの平均嗜好度より、分散分析を行った結果である。着装イメージごとに、主効果についてみると、個性M, Oの両者に有意差の認められる着装イメージは「洗練された」「フェミニンな」「しゃれた」「ゆったりとした」「エレガントな」「好きな」「個性的な」「足が長く見える」「落ち着いた」の9項目である。これら9項目は個性に関わらず、上衣服種の違いによって着装イメージが異なること

Aのイメージ (Bと比べて)



第2図 一対比較法の試料(例)

第1表 上衣服種4種による着装イメージの分散分析結果

個性Mの場合

(派手な-地味な) \*\* p<0.01 \* p<0.05

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	3.18	3	1.06	1.56 [ ]
主効果×個人	31.57	57	0.55	0.81 [ ]
組合せ効果	3.67	3	1.22	1.79 [ ]
誤差	38.58	57	0.68	
平方和	77	120		

(格好良い-格好悪い)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	3.83	3	1.28	1.26 [ ]
主効果×個人	43.17	57	0.76	0.75 [ ]
組合せ効果	6.03	3	2.01	1.97 [ ]
誤差	57.97	57	1.02	
平方和	111	120		

(魅力的な-魅力的でない)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	13.13	3	4.38	4.47 [**]
主効果×個人	25.37	57	0.45	0.46 [ ]
組合せ効果	3.88	3	1.29	1.32 [ ]
誤差	55.62	57	0.98	
平方和	98	120		

(洗練された-洗練されていない)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	13.80	3	4.60	4.34 [**]
主効果×個人	36.70	57	0.64	0.60 [ ]
組合せ効果	2.15	3	0.72	0.68 [ ]
誤差	90.35	57	1.06	
平方和	113	120		

(フェミニンな-マニッシュな)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	33.03	3	11.01	11.84 [**]
主効果×個人	39.47	57	0.69	0.74 [ ]
組合せ効果	4.68	3	1.56	1.68 [ ]
誤差	52.82	57	0.93	
平方和	130	120		

(メリハリがある-メリハリがない)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	7.83	3	2.61	1.81 [ ]
主効果×個人	48.17	57	0.85	0.59 [ ]
組合せ効果	2.18	3	0.73	0.51 [ ]
誤差	81.82	57	1.44	
平方和	140	120		

(しゃれた-やぼったい)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	22.05	3	7.35	6.74 [ *]
主効果×個人	34.45	57	0.60	0.55 [ ]
組合せ効果	4.30	3	1.43	1.31 [ ]
誤差	62.20	57	1.09	
平方和	123	120		

(軽やかな-重々しい)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	10.93	3	3.64	2.78 [ *]
主効果×個人	26.07	57	0.46	0.35 [ ]
組合せ効果	46.38	3	15.46	11.80 [**]
誤差	74.62	57	1.31	
平方和	158	120		

個性Oの場合

(派手な-地味な) \*\* p<0.01 \* p<0.05

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	20.55	3	6.85	12.02 [**]
主効果×個人	32.45	57	0.57	1.00 [ ]
組合せ効果	12.55	3	4.18	7.33 [**]
誤差	32.45	57	0.57	
平方和	98	120		

(格好良い-格好悪い)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	3.83	3	1.28	1.64 [ ]
主効果×個人	46.67	57	0.82	1.05 [ ]
組合せ効果	1.08	3	0.36	0.46 [ ]
誤差	44.42	57	0.78	
平方和	96	120		

(魅力的な-魅力的でない)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	7.68	3	2.56	2.69 [ ]
主効果×個人	49.82	57	0.87	0.92 [ ]
組合せ効果	1.18	3	0.39	0.41 [ ]
誤差	54.32	57	0.95	
平方和	113	120		

(洗練された-洗練されていない)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	10.13	3	3.38	4.90 [**]
主効果×個人	60.37	57	1.06	1.54 [ *]
組合せ効果	3.03	3	1.01	1.46 [ ]
誤差	39.47	57	0.69	
平方和	113	120		

(フェミニンな-マニッシュな)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	28.28	3	9.43	12.41 [**]
主効果×個人	36.22	57	0.64	0.84 [ ]
組合せ効果	11.38	3	3.79	4.99 [**]
誤差	43.12	57	0.76	
平方和	119	120		

(メリハリがある-メリハリがない)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	19.33	3	6.44	6.57 [**]
主効果×個人	40.67	57	0.71	0.72 [ ]
組合せ効果	5.33	3	1.78	1.82 [ ]
誤差	55.67	57	0.98	
平方和	121	120		

(しゃれた-やぼったい)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	0.58	3	2.86	3.36 [ *]
主効果×個人	55.42	57	0.97	1.14 [ ]
組合せ効果	1.83	3	0.61	0.72 [ ]
誤差	48.17	57	0.85	
平方和	114	120		

(軽やかな-重々しい)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	2.83	3	0.94	0.93 [ ]
主効果×個人	42.67	57	0.75	0.74 [ ]
組合せ効果	29.18	3	9.73	9.63 [**]
誤差	57.32	57	1.01	
平方和	132	120		

## 個性Mの場合

(ゆったりとした一窮屈な) \*\* p&lt;0.01 \* p&lt;0.05

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	5.03	3	1.68	3.05 [ * ]
主効果×個人	31.97	57	0.56	1.02 [ ]
組合せ効果	1.68	3	0.56	1.02 [ ]
誤差	31.32	57	0.55	
平方和	70	120		

(エレガントな一スポーツ的な)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	42.45	3	14.15	17.05 [ ** ]
主効果×個人	28.55	57	0.50	0.60 [ ]
組合せ効果	3.45	3	1.15	1.39 [ ]
誤差	47.55	57	0.83	
平方和	122	120		

(ほっそりとした一ふくよかな)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	8.48	3	2.83	2.92 [ * ]
主効果×個人	32.02	57	0.56	0.58 [ ]
組合せ効果	5.93	3	1.98	2.04 [ ]
誤差	55.57	57	0.97	
平方和	102	120		

(若々しい一大人っぽい)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	25.85	3	8.62	13.90 [ ** ]
主効果×個人	40.15	57	0.70	1.13 [ ]
組合せ効果	20.65	3	6.88	11.10 [ ** ]
誤差	35.35	57	0.62	
平方和	122	120		

(似合う一似合わない)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	6.28	3	2.09	1.85 [ ]
主効果×個人	31.72	57	0.56	0.50 [ ]
組合せ効果	3.33	3	1.11	0.98 [ ]
誤差	64.67	57	1.13	
平方和	106	120		

(好きな一嫌いな)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	10.38	3	3.46	3.17 [ * ]
主効果×個人	32.12	57	0.56	0.51 [ ]
組合せ効果	8.28	3	2.76	2.53 [ ]
誤差	62.22	57	1.09	
平方和	113	120		

(モダンな一クラシックな)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	3.18	3	1.06	1.83 [ ]
主効果×個人	42.32	57	0.74	1.28 [ ]
組合せ効果	1.23	3	0.41	0.71 [ ]
誤差	33.27	57	0.58	
平方和	80	120		

(個性的な一平凡な)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	15.83	3	5.28	9.60 [ ** ]
主効果×個人	32.17	57	0.56	1.02 [ ]
組合せ効果	5.43	3	1.81	3.29 [ * ]
誤差	31.57	57	0.55	
平方和	85	120		

## 個性Oの場合

(ゆったりとした一窮屈な) \*\* p&lt;0.01 \* p&lt;0.05

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	24.05	3	8.02	13.15 [ ** ]
主効果×個人	37.95	57	0.67	1.10 [ ]
組合せ効果	4.50	3	1.50	2.46 [ ]
誤差	34.50	57	0.61	
平方和	101	120		

(エレガントな一スポーツ的な)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	37.38	3	12.46	23.07 [ ** ]
主効果×個人	42.12	57	0.74	1.37 [ ]
組合せ効果	8.58	3	2.86	5.30 [ ** ]
誤差	30.92	57	0.54	
平方和	119	120		

(ほっそりとした一ふくよかな)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	3.45	3	1.15	1.22 [ ]
主効果×個人	43.05	57	0.76	0.81 [ ]
組合せ効果	7.10	3	2.37	2.52 [ ]
誤差	53.40	57	0.94	
平方和	107	120		

(若々しい一大人っぽい)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	4.63	3	1.54	1.75 [ ]
主効果×個人	37.87	57	0.66	0.75 [ ]
組合せ効果	5.58	3	1.86	2.11 [ ]
誤差	49.92	57	0.88	
平方和	98	120		

(似合う一似合わない)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	0.38	3	0.18	0.30 [ ]
主効果×個人	48.47	57	0.85	1.42 [ ]
組合せ効果	0.88	3	0.29	0.48 [ ]
誤差	34.12	57	0.60	
平方和	84	120		

(好きな一嫌いな)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	8.10	3	2.70	4.15 [ ** ]
主効果×個人	37.40	57	0.66	1.02 [ ]
組合せ効果	1.70	3	0.57	0.88 [ ]
誤差	36.80	57	0.65	
平方和	84	120		

(モダンな一クラシックな)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	0.93	3	0.31	0.65 [ ]
主効果×個人	29.07	57	0.51	1.06 [ ]
組合せ効果	0.48	3	0.16	0.33 [ ]
誤差	27.52	57	0.48	
平方和	58	120		

(個性的な一平凡な)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	16.63	3	5.54	6.76 [ ** ]
主効果×個人	36.37	57	0.64	0.78 [ ]
組合せ効果	15.13	3	5.04	6.15 [ ** ]
誤差	46.87	57	0.82	
平方和	115	120		

個性Mの場合

(足が長く見える一足が短く見える) \*\* p<0.01 \* p<0.05

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	26.88	3	8.96	9.63 [**]
主効果×個人	41.12	57	0.72	0.77 [ ]
組合せ効果	30.08	3	10.03	10.78 [**]
誤差	52.92	57	0.93	
平方和	151	120		

(ソフトな一ハードな)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	1.08	3	0.36	0.42 [ ]
主効果×個人	59.92	57	1.05	1.24 [ ]
組合せ効果	7.68	3	2.56	3.01 [ *]
誤差	48.32	57	0.85	
平方和	117	120		

(スタイルがよい一スタイルが悪い)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	9.73	3	3.24	3.41 [ *]
主効果×個人	43.27	57	0.76	0.80 [ ]
組合せ効果	12.98	3	4.33	4.56 [**]
誤差	54.02	57	0.95	
平方和	120	120		

(落ち着いた一活発な)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	19.18	3	6.39	7.99 [**]
主効果×個人	52.82	57	0.93	1.16 [ ]
組合せ効果	4.43	3	1.48	1.85 [ ]
誤差	45.57	57	0.80	
平方和	122	120		

個性Oの場合

(足が長く見える一足が短く見える) \*\* p<0.01 \* p<0.05

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	9.00	3	3.00	4.29 [**]
主効果×個人	49.00	57	0.86	1.23 [ ]
組合せ効果	12.20	3	4.07	5.81 [**]
誤差	39.80	57	0.70	
平方和	110	120		

(ソフトな一ハードな)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	11.45	3	3.82	4.84 [**]
主効果×個人	32.55	57	0.57	0.72 [ ]
組合せ効果	5.05	3	1.68	2.13 [ ]
誤差	44.95	57	0.79	
平方和	94	120		

(スタイルがよい一スタイルが悪い)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	0.63	3	0.21	0.32 [ ]
主効果×個人	36.37	57	0.64	0.97 [ ]
組合せ効果	3.48	3	1.16	1.76 [ ]
誤差	37.52	57	0.66	
平方和	78	120		

(落ち着いた一活発な)

要因	平方和	自由度	不偏分散	F
主効果	9.73	3	3.24	4.21 [**]
主効果×個人	46.27	57	0.81	1.05 [ ]
組合せ効果	6.08	3	2.03	2.64 [ ]
誤差	43.92	57	0.77	
平方和	106	120		

を示している。また、個性によって着衣イメージに及ぼす影響が異なる項目を見ると、個性Mに有意差が認められ、個性Oには有意差の認められないイメージ項目に「魅力的な」「軽やかな」「ほっそりとした」「若々しい」「スタイルがよい」の5項目がある。一方、個性Mには有意差は認められないが、個性Oに有意差の認められるイメージ項目に「派手な」「メリハリがある」「ソフトな」の3項目がある。このことから、これら8項目は個性によって上衣服種の違いがパンツスタイルの着衣イメージに及ぼす影響が異なることを示している。さらに、「格好良い」「似合う」「モダンな」の着衣イメージは、個性M、Oのいずれにも有意差が認められないことから、これら3項目は上衣服種が違って、パンツスタイルの着衣イメージに影響を及ぼさないイメージ項目と思われる。

次に組合せ効果について見てみる。“組合せ効果がある”ということは比較する上衣服種の組み合わせ方によって着衣イメージが強調されたり、主効果の順位とは逆になったりすることを意味している。

そこで、個性M、Oの両者に組合せ効果のある項目をみると、「軽やかな」「個性的な」「足が長く見える」の3項目があり、これら3項目は個性に関わらず、比較する上衣服種の組み合わせ方によって着衣イメージの評価が異なることを示している。また、個性Mにのみ組合せ効果のある項目に「若々しい」「ソフトな」「スタイルがよい」の3項目があり、個性Oにのみ組合せ効果のある項目に「派手な」「フェミニンな」「エレガントな」の3項目があることから、これら6項目は着用者の個性によって、比較する上衣服種の組み合わせ方がパンツスタイルの着衣イメージの評価に影響を及ぼす項目であることを示している。

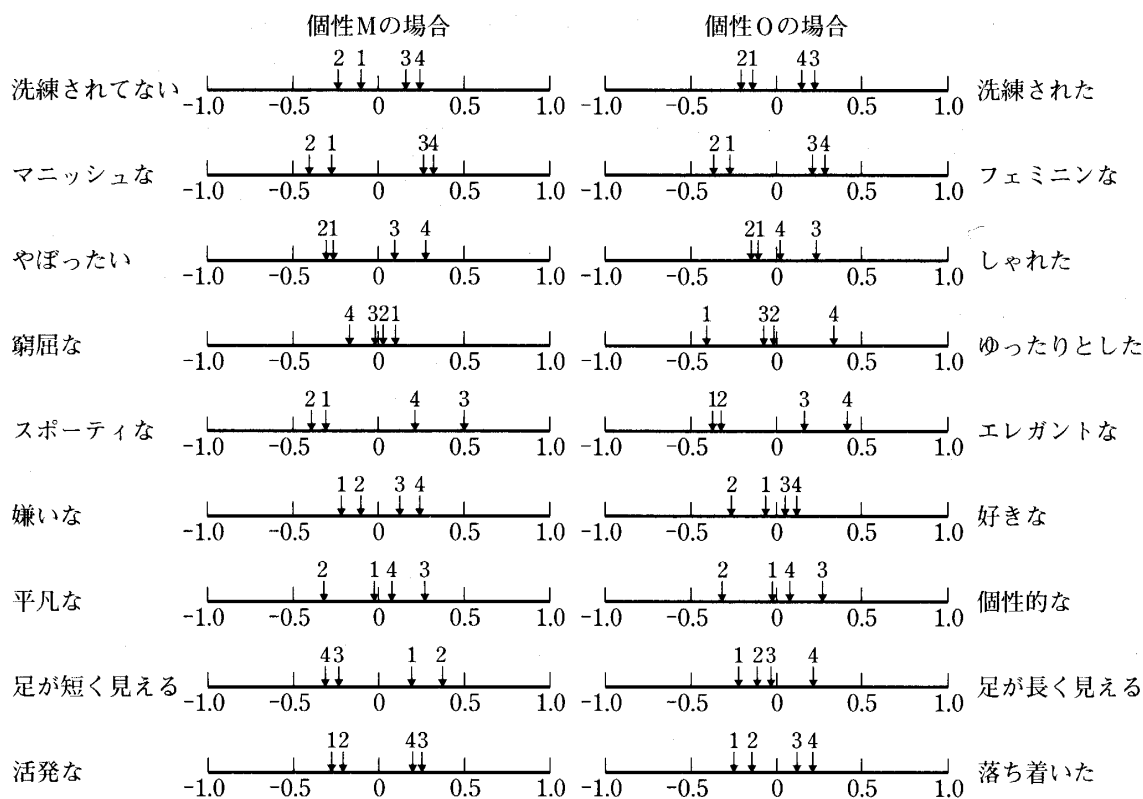
次に主効果×個人の交互作用についてみると、「洗練された」のイメージにのみ5%水準で有意差が認められるが、他の19項目には有意差が認められない。このことから、「洗練された」の評価は判定者によってやや異なった評価がなされるが、他の19項目の着衣イメージの評価は20名の判定者間に違いが認められないことが分かった。

第2表 個性M, Oの両者に有意差のみられた主効果の信頼区間

1=Tシャツ, 2=ジージャン, 3=Tシャツ+ベスト, 4=アンサンブルニット(M), オーバーブラウス(O)

\*\* p&lt;0.01 \* p&lt;0.05

	個性Mの場合		個性Oの場合	
洗練された 洗練されていない	$\alpha_1 - \alpha_2 = 0.150$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.300$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.350^*$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.450^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.500^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.050$	$Y_{0.05} = 0.3068$ $Y_{0.01} = 0.3785$	$\alpha_1 - \alpha_2 = 0.050$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.363^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.288^*$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.413^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.338^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = 0.075$	$Y_{0.05} = 0.2476$ $Y_{0.01} = 0.3054$
フェミニンな マニッシュな	$\alpha_1 - \alpha_2 = 0.113$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.575^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.588^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.688^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.700^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.013$	$Y_{0.05} = 0.2874$ $Y_{0.01} = 0.3545$	$\alpha_1 - \alpha_2 = 0.113$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.500^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.563^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.613^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.675^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.063$	$Y_{0.05} = 0.2598$ $Y_{0.01} = 0.3205$
しゃれた やぼったい	$\alpha_1 - \alpha_2 = 0.025$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.375^*$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.600^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.450^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.625^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.225$	$Y_{0.05} = 0.3112$ $Y_{0.01} = 0.3838$	$\alpha_1 - \alpha_2 = 0.025$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.388^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.138$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.413^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.163$ $\alpha_3 - \alpha_4 = 0.250$	$Y_{0.05} = 0.2748$ $Y_{0.01} = 0.3389$
ゆったりとした 窮屈な	$\alpha_1 - \alpha_2 = 0.075$ $\alpha_1 - \alpha_3 = 0.138$ $\alpha_1 - \alpha_4 = 0.338^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = 0.063$ $\alpha_2 - \alpha_4 = 0.263^*$ $\alpha_3 - \alpha_4 = 0.200$	$Y_{0.05} = 0.2210$ $Y_{0.01} = 0.2726$	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.400^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.375^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.775^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = 0.025$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.375^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.400^{**}$	$Y_{0.05} = 0.2328$ $Y_{0.01} = 0.2871$
エレガントな スポーティな	$\alpha_1 - \alpha_2 = 0.075$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.800^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.525^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.875^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.600^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = 0.275^*$	$Y_{0.05} = 0.2715$ $Y_{0.01} = 0.3349$	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.013$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.550^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.788^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.538^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.775^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.238^*$	$Y_{0.05} = 0.2190$ $Y_{0.01} = 0.2701$
好きな 嫌いな	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.113$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.325^*$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.463^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.213$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.350^*$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.138$	$Y_{0.05} = 0.3112$ $Y_{0.01} = 0.3838$	$\alpha_1 - \alpha_2 = 0.225$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.150$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.175$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.375^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.400^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.025$	$Y_{0.05} = 0.2403$ $Y_{0.01} = 0.2964$
個性的な 平凡な	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.313^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_3 = 0.300^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = 0.113$ $\alpha_2 - \alpha_3 = 0.613^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = 0.425^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.188$	$Y_{0.05} = 0.2210$ $Y_{0.01} = 0.2726$	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.475^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_3 = 0.113$ $\alpha_1 - \alpha_4 = 0.013$ $\alpha_2 - \alpha_3 = 0.588^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = 0.488^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.100$	$Y_{0.05} = 0.2699$ $Y_{0.01} = 0.3329$
足が長く見える 足が短く見える	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.188$ $\alpha_1 - \alpha_3 = 0.438^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = 0.500^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = 0.625^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = 0.688^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = 0.063$	$Y_{0.05} = 0.2874$ $Y_{0.01} = 0.3545$	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.100$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.150$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.450^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.050$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.350^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.300$	$Y_{0.05} = 0.2494$ $Y_{0.01} = 0.3076$
落ち着いた 活発な	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.063$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.525^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.513^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.463^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.450^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = 0.013$	$Y_{0.05} = 0.2667$ $Y_{0.01} = 0.3288$	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.088$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.338^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.425^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.250$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.338^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.088$	$Y_{0.05} = 0.2615$ $Y_{0.01} = 0.3226$



1=Tシャツ, 2=ジージャン, 3=Tシャツ+ベスト, 4=アンサンブルニット(M), オーバーブラウス(O)

第4図 個性M, Oの両者に有意差のみられた主効果の尺度図

2) 上衣服種別に見たパンツスタイルの着装イメージの相対評価

1) の分散分析結果より、主効果に有意差の認められたイメージ項目について、どの上衣服種間に有意差が認められるかを主効果の信頼区間より求め、主効果の値を尺度図上にプロットして上衣服種別に着装イメージの違いを調べた。第2表と第4図は、個性M, Oの両者に主効果に有意差の認められた9項目について信頼区間の表と主効果の値をプロットした図である。まず始めに、Tシャツ(カットソー)とジージャンを比較してみると、個性Oは「ゆったりとした」のイメージに1%水準で有意差が認められ、Tシャツ(カットソー)がジージャンに比べて窮屈であることを示している。また、「個性的な」のイメージに個性M, Oの両者に1%水準で有意差が認められることから、着用者に関わらず、ジージャンがTシャツ(カットソー)に比べて個性的であることが分かる。しかし、この他の7項目の着装イメージには個性M, Oの両者とも有意差が認められない。このことから、着用者に関わらず上衣服種がTシャ

ツ(カットソー)またはジージャンのとき、両者はほぼ同じ着装イメージを示し、そのイメージの特徴はパンツスタイルの着装イメージとして一般的に言われているマニッシュな、スポーティな、活発なイメージを示すことが分かった。次に、Tシャツとジージャン以外の他の上衣服種2種を見てみると、これらの服種は個性M, Oとも、一般的に言われているフェミニンな、エレガントなイメージを示すことが分かる。このことは、パンツスタイルにおいても組み合わせる上衣服種によって、フェミニンな、エレガントな着装イメージを得ることができることを示している。さらにこれらの上衣服種では、個性Mにおいて好きな、落ち着いたイメージであるが、平凡で、足が短く見えるといった着装イメージを示し、個性Oではしゃれたイメージを示すなど、個性によって上衣服種の違いがパンツスタイルの着装イメージに与える影響が異なることが分かった。

第3表と第5図は、個性M, Oのいずれか一方にのみ主効果に有意差が認められた8項目の信頼区

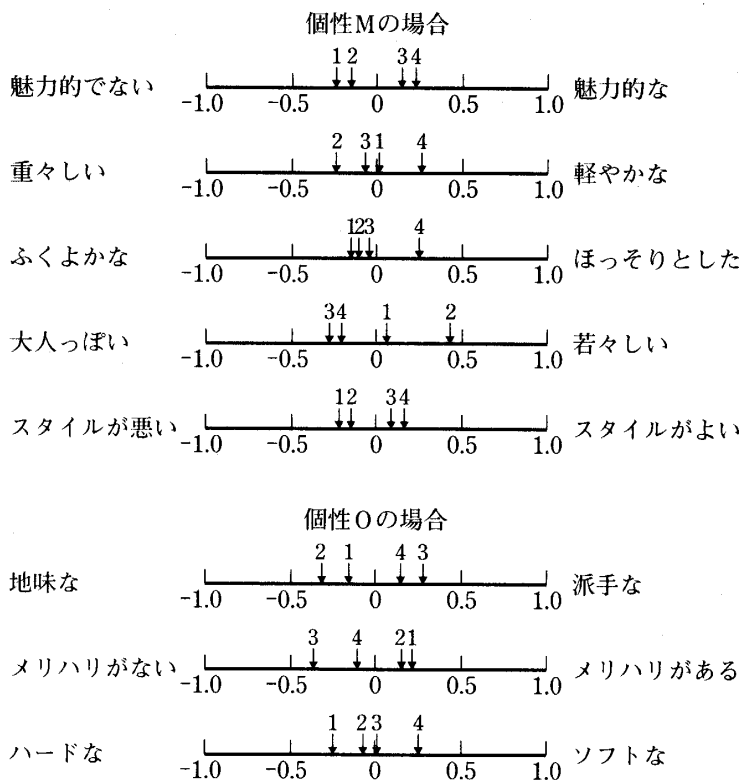


第3表 個性M, Oの一方にのみ有意差のみられた主効果の信頼区間

1=Tシャツ, 2=ジージャン, 3=Tシャツ+ベスト, 4=アンサンブルニット(M), オーバーブラウス(O)

\*\* p&lt;0.01 \* p&lt;0.05

	個性Mの場合	個性Oの場合
派手な   地味な		$\alpha_1 - \alpha_2 = 0.200$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.450^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.300^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.650^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.500^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = 0.150$
		$Y_{0.05} = 0.2250$ $Y_{0.01} = 0.2775$
魅力的な   魅力的でない	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.050$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.388^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.463^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.338^*$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.413^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.075$	$Y_{0.05} = 0.2950$ $Y_{0.01} = 0.3639$
メリハリがある   メリハリがない		$\alpha_1 - \alpha_2 = 0.050$ $\alpha_1 - \alpha_3 = 0.613^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = 0.338^*$ $\alpha_2 - \alpha_3 = 0.563^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = 0.288$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.275$
		$Y_{0.05} = 0.2950$ $Y_{0.01} = 0.3639$
軽やかな   重々しい	$\alpha_1 - \alpha_2 = 0.263$ $\alpha_1 - \alpha_3 = 0.088$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.250$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.175$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.513^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.338$	$Y_{0.05} = 0.3411$ $Y_{0.01} = 0.4208$
ほっそりとした   ふくよかな	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.038$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.100$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.413^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.063$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.375^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.313^*$	$Y_{0.05} = 0.2935$ $Y_{0.01} = 0.3621$
若々しい   大人っぽい	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.375^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_3 = 0.350^{**}$ $\alpha_1 - \alpha_4 = 0.275^*$ $\alpha_2 - \alpha_3 = 0.725^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_4 = 0.650^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.075$	$Y_{0.05} = 0.2347$ $Y_{0.01} = 0.2895$
ソフトな   ハードな		$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.175$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.250$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.525^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.075$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.350^{**}$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.275^*$
		$Y_{0.05} = 0.2649$ $Y_{0.01} = 0.3267$
スタイルがよい   スタイルが悪い	$\alpha_1 - \alpha_2 = -0.080$ $\alpha_1 - \alpha_3 = -0.338^*$ $\alpha_1 - \alpha_4 = -0.425^{**}$ $\alpha_2 - \alpha_3 = -0.250$ $\alpha_2 - \alpha_4 = -0.338^*$ $\alpha_3 - \alpha_4 = -0.088$	$Y_{0.05} = 0.2905$ $Y_{0.01} = 0.3583$



1=Tシャツ, 2=ジージャン, 3=Tシャツ+ベスト, 4=アンサンブルニット(M), オーバーブラウス(O)

第5図 個性M, Oの一方にのみ有意差のみられた主効果の尺度図

間の表と主効果の値をプロットした図である。

まず、個性Mにのみ有意となった5項目の着装イメージについて見ると、「魅力的な」イメージでは、Tシャツとジージャンは他の上衣服種2種に比べて負のイメージすなわち魅力的でないイメージを表し、「軽やかな」イメージでは、ジージャンがアンサンブルニットに比べて重々しいこと、「ほっそりとした」イメージでは、アンサンブルニットが他の3種に比べてほっそりとして見え、「若々しい」イメージでは、Tシャツ、およびジージャンが他の上衣服種2種に比べて若々しいこと、「スタイルがよい」イメージでは、Tシャツはジージャンを除く他の上衣服種2種に比べてスタイルが悪いイメージを示し、ジージャンはアンサンブルニットに比べてややスタイルが悪いイメージを示すことが分かった。

同様にして個性Oについて有意となった3項目についてみると、「派手な」イメージでは、Tシャツ、およびジージャンは他の上衣服種2種に比べて地味なイメージであり、「メリハリがある」イメージでは、Tシャツがジージャンを除く他の上衣服種2種

に比べてメリハリがあり、ジージャンはTシャツにベストを組み合わせた上衣に比べてメリハリがある。「ソフトな」イメージでは、オーバーブラウスが他の上衣服種3種に比べてソフトなイメージであることが明らかになった。このように、個性により上衣服種の違いがパンツスタイルの着装イメージに及ぼす影響が異なることから、パンツとコーディネートする上衣服種の違いはファッションタイプなどの個性と深い関わりがあることが推察される。

#### 4. まとめ

体型の異なる2名の女子短大生を着用者としてパンツとコーディネートする上衣服種の違いによる着装イメージについて一対比較法を用いて調べた結果、次のことが明らかになった。

- 1) 個性に関わらず、上衣服種の違いが影響するパンツスタイルの着装イメージは、「洗練された」「フェミニンな」「しゃれた」「ゆったりとした」「エレガントな」「好きな」「個性的な」「足が長く見える」「落ち着いた」の9項目があ

り、個性によって着装イメージに及ぼす影響が異なる項目に「魅力的な」「軽やかな」「ほっそりとした」「若々しい」「スタイルがよい」と、「派手な」「メリハリがある」「ソフトな」の着装イメージがあることが分かった。また、「格好良い」「似合う」「モダンな」の3項目は上衣服種の違いがパンツスタイルの着装イメージに影響を及ぼさない項目であることが明らかになった。

- 2) 上衣服種別に着装イメージの違いを見ると、Tシャツやジージャンをコーディネートした場合は個性に関わらず、一般的なパンツスタイルイメージであるマニッシュな、スポーティな、活発な着装イメージを示した。しかし、Tシャツとジージャンを除く他の上衣服種をコーディネートした場合、一般的に言われているパンツスタイルイメージと反対のイメージを示すことが分かり、パンツスタイルにおいても、組み合わせる上衣服種によってフェミニンな、エレガントな着装イメージを得ることが分かった。さらに、これらの上衣服種では、好きな、落ち着いたイメージであるが、平凡で、足が短く見えるといった着装イメージを示す個性と、しゃれたイメージのみを示す個性が見られ、下衣が同じパンツであっても各個性が選ぶ上衣服種の違いがパンツスタイルの着装イメージに及ぼす影

響は異なることが明らかになった。

以上、今回は2名の異なる個性について上衣服種の違いによる着装イメージの評価について検討したが、今後は上衣服種の選定がファッションタイプなどの個性と深い関わりがあることが推察されることから、種々の個性について調べてコーディネートファッションの楽しさを追求していきたいと思う。

終わりに、本実験の着用者および調査にご協力いただきました女子短大生に感謝申し上げます。

#### 参考文献

- 1) 藤井一枝：パンツシルエットが着装評価に及ぼす影響，織機誌，52，T255-262（1999）
- 2) 藤井一枝：短大生の着装実態を服飾誌と比較して，島根女子短期大学紀要，33，67-76（1995）
- 3) 風間健，磯井佳子，中川智景：スポーツ衣料の色彩効果の研究，デサントスポーツ科学，10，302-317（1989）
- 4) 布の風合い編集委員会編：“布の風合い”，第2篇，第1章，日本繊維機械学会（1972）
- 5) 日科技連官能検査委員会編：官能検査ハンドブック，第10章，日科技連（1995）

（平成11年10月29日受理）